

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワーデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	通年		時間数	225	単位数 7.5
授業概要	初めて切り花を扱うことを前提とし、切り花の仕組みや取り扱い方・デザインを行うための道具やその使用方法・基本形について学ぶ。基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	切り花の正しい取り扱い方・水揚げ方法、道具の正しい使い方を身に付けること、スパイラルテクニックやアレンジの基本形の制作技術を身に付けることを目標とする。		
担当教員 プロフィール	<p>小池智子 本校卒業生であり生花店、レストランウェディングフラワー部門での勤務経験をもつ。在学当時から磨いてきた基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開する。</p> <p>高野真樹子 本校卒業生であり生花店での勤務経験をもつ。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして勤務。その経験をもとに、基本知識・技術の指導とフローリストとしての心得を指導。</p>				
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書（NFD） 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	フラワーデザイン概論①	授業の流れについて説明 フラワーデザインの歴史と概要 道具・資材類の説明	小池・高野 講義
2	資材類の基礎テクニック	ナイフの使い方・ワイリング・テープング方法の習得、コサージュ制作	小池・高野 講義・演習
3	切り花の取り扱い方①	植物のしくみと水揚げの原理	小池・高野 講義・演習
4	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
5	アレンジメント	クラシック 立体構成 ドーム	小池・高野 演習
6	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
7	アレンジメント	クラシック 立体構成 コウン	小池・高野 演習
8	フラワーデザイン概論②	切り花の取り扱い方②	小池・高野 講義
9	花束・アレンジメント	スパイラルテクニックの習得 ラウンド、立体構成 復習	小池・高野 演習
10	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
11	アレンジメント	クラシック 立体構成 ホリゾンタル	小池・高野 演習
12	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野 演習
13	復習 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野 演習
14	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
15	アレンジメント	クラシック 直線構成 トライアングュラー	小池・高野 演習
16	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
17	アレンジメント	クラシック 直線構成 ファン	小池・高野 演習

18	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
19	アレンジメント	クラシック 直線構成 オーバル	小池・高野 演習
20	花束	スパイラルテクニックの復習 ワンサイド	小池・高野 演習
21	アレンジメント	クラシックスタイルの復習 直線構成	小池・高野 演習
22	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ワンサイド クラシックスタイル 直線構成	小池・高野 演習
23	花束・アレンジメント	お悔やみに関する花の知識の習得 お悔やみを意識した花束とアレンジメント	小池・高野 講義・演習
24	モダンスタイル	クラシックスタイルとモダンスタイルの考え方の違い	小池・高野 講義・演習
25	モダンスタイル	花束・アレンジメント パラレル フリーセンデス	小池・高野 演習
26	模擬店舗①	花束 アレンジメント ※水揚げしてから使用	小池・高野 演習
27	模擬店舗②	夏休み前のまとめ・復習	小池・高野 演習
28	ブライダル装花	結婚式の花について 両親贈呈用花束	小池・高野 講義・演習
29	ブライダル装花	メイン装花 花冠	小池・高野 演習
30	ブーケ・ブートニア	ブーケについて ホルダーブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 講義・演習
31	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
32	ブーケ・ブートニア	ホルダーブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
33	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
34	テスト メイン装花・ブーケ	ブライダル メイン装花 ホルダーブーケ ブートニア	小池・高野 演習
35	テスト ブーケ	ワイヤリングブーケ ブートニア	小池・高野 演習
36	資材の扱い方①	現場視察 松村工芸 アンナサッカ東京	小池見学引率・講義
37		現場視察 ASCA商会 ショールーム	小池見学引率・講義
38	花束	基礎型の総まとめ・総復習 (ラウンド・ワンサイド)	小池・高野 演習
39	アレンジメント	基礎型の総まとめ・総復習 (クラシック 立体構成・直線構成 ほか)	小池・高野 演習
40	模擬店舗③	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 講義・演習
41	模擬店舗④	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 演習
42	年中行事の花飾り①	クリスマスに関する知識の習得 フレッシュリース	小池・高野 講義・演習
43		クリスマス センターピースアレンジメント アドベントアレンジメント、入口ツリー装飾	小池・高野 演習
44	年中行事の花飾り②	お正月に関する知識の習得 お正月のギフトアレンジメント	小池・高野 講義・演習
45		花束 お正月のウェルカムアレンジメント	小池・高野 演習
46	模擬店舗⑤	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 演習

47	模擬店舗⑥	植物の持つキャラクターを学ぶ	小池・高野 演習
48	模擬店舗⑦	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	小池・高野 演習
49	模擬店舗⑧	オーダーシートの書き方や接客方法を学ぶ	小池・高野 演習
50	資材の扱い方②	様々な資材の活用方法（株式会社東京堂・ショールーム）	株式会社 東京堂 小池・（野部） 引率
51		見学・購入 卒業作品展で販売する商品の材料を購入	株式会社 東京堂 小池・（野部） 引率
52	テスト：模擬店舗⑨	東京堂で購入した資材を使用して、卒業作品展で販売する商品制作	小池・高野 演習
53	テスト：模擬店舗⑩	発表 まとめ	小池・高野 講義・演習
54	資材の扱い方③	テスト 花束	小池・高野 演習
55		テスト アレンジメント	小池・高野 演習
56	まとめ	一年間の総まとめ	小池・高野 演習
57		修得技術の総確認	小池・高野 演習
58	展示会見学	関東東海花の展覧会（池袋サンシャインシティ）見学	小池 見学引率 レポート提出あり
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ブライダルの基礎知識			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 ブライダルフラワーコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～2月	時間数	75		単位数	2.5
授業概要	ブライダルやフューネラルに関する基礎的知識を学び、2年次での技術習得をより確かなものにする。その知識をもとに、接客技術・企画力を身に付けることを目指す。	到達目標	ブライダルブーケ・会場装花全般の基礎技術と基本的な知識は必須である。また、ブライダルシーンだけではなく、フューネラルも含んだ、セレモニー全般に関する知識は必須である。			
担当教員プロフィール	小池智子 生花店での販売、レストランウェディングのフラワー部門で実務経験をもとに、特にブライダルフラワーコーディネーターの養成に向けた講義・指導を行う。 各企業 ウェディング現場、フューネラル現場					
テキスト・教材	花演出 NFDウェディングフラワーテキスト 自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験60% レポート30% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ブライダル概論①	ブライダルの歴史と花の関わり	小池 講義
2	ブライダル概論②	儀式の種類と流れ	小池 講義
3	ブライダル概論③	各会場の特徴と様々な装飾	小池 講義
4	ブライダル概論④	様々なドレス・ブーケ	小池 講義
5	現場見学① フューネラル	フューネラル概論～株式会社フレッシュ～	株式会社フレッシュ
6		フューネラルフラワー 知識・デモンストレーション	株式会社フレッシュ
7	ブライダル概論⑤	前半復習	小池 講義
8	現場見学② ウェディング	ウェディング業界の現場を学ぶ ウェディングスタイルの違いを学ぶ	小池 見学引率
9		ウェディング会場見学～第一園芸株式会社ブライダル部門～	小池 見学引率
10	見学のまとめ	まとめ 考察・発表	小池 講義
11	ブライダル概論⑥	DVD視聴	小池 講義
12	ブライダル概論⑦	見学・DVD視聴等含め考察、レジュメ作成	小池 講義
13	ブライダル概論⑧	各自のまとめ発表	小池 講義
14	ブライダル概論⑨	花嫁さんのメイクとブーケの色	小池 講義
15	ブライダル概論⑩	基本接遇マナーとポイント、打ち合わせ	小池 講義
16	現場見学③ フューネラル・ブライダル	フューネラル業界の現場を学ぶ 企業訪問～株式会社ウエルサブライ～	小池 見学引率
17	見学のまとめ	まとめ 考察・発表	小池 講義
18	まとめ	ブライダルフラワーとは フューネラルフラワーとは	小池 講義
19	基礎知識テスト	ブライダルの基礎知識 まとめ学科テスト	小池 講義
他教科との関連 フラワーデザイン フラワービジネス ブライダルフラワー		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	デザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	4月～5月	時間数	15		単位数
授業概要	構成力・描写力・空間に対する認識等を培い、ビジュアル表現におけるコミュニケーション能力を身に付ける。	到達目標	作業に参加し、課題を完成させていくことで、デザインの基本概念への理解を促していくことを目標とする。		
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。 植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他(出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	つないで見る 点・線・面・立体とは?	観察する・伝える 「～している人」を点描により線・面をつないで描画する	講義・演習
2	構成デザインの単体体験	バラバラにしてみる 集めてみる	講義・演習
3	幾何形態を描く	基本的形の理解 陰影、遠近感(遠近法)の表現	講義・演習
4	かたちで見る	ブレインストーミング プロポーションの変化 シンメトリーを探す	講義・演習
5			
6		Aグループ ブライダルフラワーコース(12名) Bグループ フラワーデザインコース(14名)	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	植物の基礎知識		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	4月～7月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	植物は、私たちの生活にとってなくてはならないものである。この植物を扱う園芸業界でスペシャリストとして活躍するため、基本的な植物に関する知識を身に付けることを目的とする。	到達目標	植物の性質や分類、生態に関する用語や知識を理解することを目標とする。		
担当教員プロフィール	草間さきく 中学・高校の「理科」教員免許を持ち、非常勤講師として中学・高校・大学で教鞭をとった経験がある。専門分野である生物学の知識をもとに演習を交えながら、植物の基礎知識をより分かりやすく講義する。				
テキスト・教材	園芸・植物用語集（淡交社）、自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート50% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス 植物の分類	課題について 植物の名前と学名	講義
2	植物の構造	細胞の構造、器官（根・葉・茎）や花の構造	講義
3	被子植物の生殖と繁殖	花と種子のつき方 無性生殖と有性生殖	講義
4	遺伝の基礎	遺伝と変異 品種改良	講義
5	植物の生理生態①	種子の発芽、光合成、呼吸	講義
6	植物の生理生態②	刺激に対する応答と植物ホルモン 植物とウイルス	講義
7	植物の生理生態③	植物の栄養 土壌や肥料の種類、性質	講義
8	植物の進化と多様性	コケ、シダ、裸子植物、被子植物	講義
9	植生の多様性	植生 バイオーム	講義
10	植物の色と香り	香りの基礎知識 花の色素	講義
11	まとめ テスト	総復習テスト	講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 花と緑の商品知識 I		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は1回(2コマ)180分授業補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	花の文化		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	4月～6月	時間数	30	単位数	1
授業概要	古くから人が花や緑とどのように関わってきたか、その歴史文化が現在の園芸ビジネスに至っていることを理解する。	到達目標	行事、花、園芸の用語を理解すること。		
担当教員プロフィール	伊達啓子 花の歴史と文化の研究者として多くの専門誌に寄稿され、花や植物と我々の生活との関わりや文化的発展について講義する。 日野原健司 太田記念美術館主席学芸員。浮世絵の研究者。江戸時代の浮世絵にみる日本における園芸文化の発展を解説、講義する。 知地正和 小原流いけばな研究院助教授。いけばなの歴史と伝統、その技と魅力をデモンストレーションを交えてわかりやすく伝える。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート20% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	古代の花文化	多神教と植物崇拜 西アジア、エジプト、ギリシャ、ローマ、ケルト	伊達 講義
2	中世の花文化	イスラム園芸の影響 キリスト教と花のシンボリズム、 キリスト教の行事と花	伊達 講義
3	近世ヨーロッパの栽培と ガーデニング	ヨーロッパ園芸の歩み イタリア、オランダ、フランス、イギリスの伝統	伊達 講義
4	19～20世紀の園芸の変化 花を飾る歴史	イギリス 19～20世紀の栽培・庭園 フラワーアレンジの歴史、イベントと花（物日）	伊達 講義
5	結婚・葬儀の花飾り 日本人と花の伝統	冠婚葬祭の花の変遷 日本文化と華（神道・仏教・庭）	伊達 講義
6	日本人と花の伝統 筆記試験	花と農耕儀礼 テスト（45～50分）	伊達 講義
7	華道の魅力	華道の歴史とその魅力について知る （後日レポート提出）	知地 講義 デモンストレーション
8	江戸の園芸	江戸園芸文化を浮世絵を通して知る （後日レポート提出）	日野原 講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン ガーデニング フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	カラーコーディネート		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	4月～6月	時間数	30		単位数
授業概要	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせや造形力に活かす。	到達目標	色彩の基礎知識と配色調和を理解することを目標とする。		
担当教員 プロフィール	熊谷佳子 一般財団法人日本色彩研究所認定色彩指導者。ファッションデザインの現場を経て、カラーコーディネーターへ。企業研修においてさまざまな色彩講座を担当。パーソナルカラー分析など色彩関連の講演・講座活動も多く手掛ける。その経験をもとに、フラワーデザインにおける色彩の重要性を実践を交えた授業形式で展開していく。				
テキスト・教材	自作プリント カラー&ライフ (色研事業) 新配色カード199a				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	色の仕組み①・②	色の種類と性質 PCCS(色相とトーン)・色名	講義
2	色の仕組み③・④	実習「カラーサークル」 トーンと等色相面・色立体	演習・講義
3	配色のルール①	色相配色	講義
4	確認テスト① 配色の実践	確認テスト、解答・解説 実習「配色を意識したラウンドアレンジメント」	演習・講義
5	配色のルール②	トーン配色・アクセントカラー他 応用	講義
6	色の生じる原理 売り場づくりと色	光と色・色覚 ユニバーサルカラーとディスプレイ	講義
7	確認テスト② 色彩心理	確認テスト、解答・解説 色の対比と心理的効果	講義
8	色でイメージを表現する イメージ表現の実践	配色表現の応用 実習「色のイメージを意識した花束」	演習・講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン グリーンデザイン フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は1回(2コマ)180分授業補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業



2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	園芸流通			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～7月	時間数	30		単位数	1
授業概要	フラワービジネス業界で働く人たちが知っておかなければならない業界の仕組みと役割及び現状と今後について理解させる。		到達目標	フラワービジネス業界の基本的な仕組みの概要と役割を理解することを目標とする。また、その中でいかに知識と技術をしっかりと身に付けるべきかを理解させる。		
担当教員 プロフィール	水本寿美江 国内外の生花店などで販売員として勤務した経験があり、その実務経験に基づいてフラワー業界の概要を講義する。					
テキスト・教材	自作プリント スライド					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート90% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸流通を学ぶにあたって	園芸流通の分野にはどのようなものがあるか? フラワービジネスと情報の収集について	講義
2	花き流通基礎①	花卉園芸の生産の現状について	講義
3	花き流通基礎②	卸売市場の役割と仕組み	講義
4	小売業 フラワーショップ I	小売業の役割について フラワーショップのいろいろな形態と現状について	講義
5	フラワーショップ II 通信配達 冠婚葬祭業	フラワーショップの今後と通信配達の現状について 冠婚葬祭業の現状について	講義
6	大田市場見学	大田市場花き部見学	見学
7	園芸店・ガーデンセンター①量販店 資材業 通信販売業	「花と緑」の取り扱い状況・量販店での取扱 各種資材業とインターネットビジネスについて	講義
8	園芸装飾(貸鉢)業 造園緑化業 社会園芸	インドアにおける「花と緑」の利用状況と貸鉢業概要 造園業界の概要と環境・園芸療法や花育について	講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は1回(2コマ)180分授業補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワービジネス			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 ブライダルフラワーコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	60		単位数	2.5
授業概要	花き園芸ビジネスに必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術や商品陳列など、販売促進につながる技術の基礎を学ぶ。	到達目標	接客に際しては、お客様に不快感を与えない接客を。包装技術は、プロの販売員として恥ずかしくない包装を。商品陳列などの販売促進技術は、確実な効果のみられるものをそれぞれ目指す。			
担当教員 プロフィール	水本寿美江 国内外の生花店などで販売員として勤務した経験があり、その実務経験に基づいて即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開。 高野真樹子 生花店での勤務経験をもとに、売れる商品づくりの基礎を指導。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして実務を行う。					
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書 自作プリント 販売技術 水揚げ&花のケア					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート0% 実技10% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ビジネス概論①	接客マナーの基本について 心構え	水本 講義
2	ラッピングの種類と技術①	リボンワーク 花束ラッピング（1本包み）	水本・高野 演習
3	ラッピングの種類と技術②	リボンワーク復習 花束ラッピング（筒包み・合わせ包み）	水本・高野 演習
4	ラッピングの種類と技術③	鉢物ラッピング 箱詰め梱包作業と宅配・配送について	水本・高野 演習
5	ビジネス概論②	冠婚葬祭と植物の関わり	水本 講義
6	ビジネス概論③	暮らしの歳時記と植物の関わり （接客マナーに関する課題）	水本 講義
7	商品管理と陳列	商品管理の基本と陳列（切花・鉢物・苗物）	水本 講義
8	ビジネス概論④	花贈りのマナーとポイント	水本 講義
9	ビジネス概論⑤	販売業務の基本について チェックテスト	水本 講義
10	テスト①	品種名テスト・植物150種水揚げ方法テスト	水本 講義
11	商品制作 クリスマス①	ドライ素材・プリザーブドフラワーを使用したクリスマス向け商品の制作	高野 演習
12	商品制作 クリスマス②	実習店舗で販売するためのクリスマス商品の制作	高野 演習
13	商品制作 お正月①	アーティフィシャルフラワーを使用したお正月向け商品の制作	高野 演習
14	商品制作 お正月②	実習店舗で販売するためのお正月商品の制作	高野 演習
15	テスト②	品種名テスト・植物150種水揚げ方法テスト	水本 講義
16			
17			
18			
19			
他教科との関連 フラワーデザイン インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	花と緑の商品知識			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～2月	時間数	90	単位数	3	
授業概要	生花店・園芸店で取り扱う園芸植物・資材の主要品目について、その特徴や種類、取扱い方法などについて学ぶ。		到達目標	代表的な植物や資材に対するお客様からの問に答えられる最低限の知識の習得を目標とする。出回り時期、観賞時期、店頭での主な管理方法、園芸的分類、花色など		
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。 山本裕隆 元高木伝統園芸文化振興財団学芸員。自然環境知識や盆栽技術を生かした庭園づくりを行う造園業を営む。					
テキスト・教材	これから始める山野草（柄の葉書房）					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%			認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガイダンス	フォーマットの書き方／園芸的分類	大久保 講義
2	花壇苗・鉢物①	初夏～夏に出回る植物 1	大久保 講義
3	花壇苗・鉢物②	初夏～夏に出回る植物 2／夏の植物管理	大久保 講義
4	ハーブ	人気のあるハーブとその管理	大久保 講義
5	花壇苗・鉢物③	初夏～夏に出回る植物 3	大久保 講義
6	花壇苗・鉢物④	初夏～夏に出回る植物 4	大久保 講義
7	花壇苗・鉢物⑤	夏～秋に出回る植物 1	大久保 講義
8	花壇苗・鉢物⑥	夏～秋に出回る植物 2	大久保 講義
9	花壇苗・鉢物⑦	夏～秋に出回る植物 3	大久保 講義
10	樹木①	良い苗の選び方・植え付け方	大久保 講義
11	樹木②	人気のある木本の紹介（花木・香木等）	大久保 講義
12	花壇苗・鉢物⑧	秋～冬に出回る植物 1	大久保 講義
13	花壇苗・鉢物⑨	球根植物の種類と植え付け方法	大久保 講義
14	花壇苗・鉢物⑩	秋～冬に出回る植物 2	大久保 講義
15	多肉植物・サボテン	多肉・サボテンとは／主な管理方法	大久保 講義
16	山野草①	山野草とは	山本 講義
17	山野草②・盆栽	山野草の管理・盆栽について	山本 講義
18	花壇苗・鉢物⑪	秋～冬に出回る植物 3	大久保 講義
19	園芸資材	用土、肥料、農薬、容器 ほか	大久保 講義
20	花壇苗・鉢物⑫	年末商品	大久保 講義
21	花壇苗・鉢物⑬	冬～初春に出回る植物 1	大久保 講義
22	花壇苗・鉢物⑭	冬～初春に出回る植物 2／冬の植物管理	大久保 講義
23	花壇苗・鉢物⑮	冬～初春に出回る植物 3	大久保 講義
他教科との関連 グリーンデザイン フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	時事教養		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	9月～12月	時間数	30		単位数
授業概要	現代社会の諸問題について、その背景と課題を考えていく力をつける。 生活環境・文化についても関心を深め知識の向上を図る。	到達目標	各テーマで提示される資料やデータを読み取ることができる。 問題の背景を指摘し、自分なりの考えを表現できるようにする。		
担当教員 プロフィール	堀切昌美 通信制高校や専門学校などで文章・言語表現の指導、ディスカッション指導の経験を持つ。世間で関心の高い時事問題を取り上げ、グループ・ディスカッションを通して問題を掘り下げ考える力と自分なりの考えを表現できる力を養う授業をおこなう。				
テキスト・教材	新聞・雑誌・政府刊行物・自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート0% 実技0% 発表20% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	授業ガイダンス	自己紹介 授業の進め方 アイスブレイクゲーム	講義・演習
2	VUCAの時代	人生100年時代と言われる現代社会を考える	講義・演習
3	社会人基礎力について	専門学校で身につけておきたいこと 学ぶということ	講義・演習
4	少子高齢化	日本の人口減少問題を与える背景と今後について	講義・演習
5	グローバル化	メリット・デメリット 視点の持ち方 第1回 小テスト実施（15点）	講義・演習
6	IT化 デジタル社会	ICT利活用 IOTについて	講義・演習
7	格差について	生活格差 経済格差など ○○格差について	講義・演習
8	差別と偏見	身近なところから考えてみる LGBT ジェンダーなど	講義・演習
9	SDG s	持続可能社会を考える 第2回 小テスト実施（15点）	講義・演習
10	環境とエネルギー	食品ロス カーボンニュートラル	講義・演習
11	プレゼン計画	第2回～第10回のテーマからプレゼンテーマを決める	講義・演習
12	プレゼンテーション① （個人orグループ発表）	ポイントを整理し、考察を織り交ぜ発表する 1人3～5分 PowerPoint 紙芝居 その他発表形式自由	講義・演習
13	プレゼンテーション② （個人orグループ発表）	ポイントを整理し、考察を織り交ぜ発表する 1人3～5分 PowerPoint 紙芝居 その他発表形式自由	講義・演習
14	授業振り返り	グループワーク コンセンサスゲーム	講義・演習
15	総括	まとめテスト実施（持ち込み可・30点）	講義
他教科との関連 ビジネスマナー インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 補講となる。	備考 1回（1コマ）90分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ビジネス能力検定3級			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	8月～12月	時間数	30		単位数	1
授業概要	現代の職業社会が必要とするビジネス能力の基礎を学び、ビジネス能力検定3級の合格を目指す。	到達目標	ビジネス能力検定3級試験に合格することを目標とする			
担当教員 プロフィール	堀切昌美 自身の販売員としての社会経験と就職対策講師としての経験をもとに、大学・専門学校などでビジネス能力検定試験対策講座の非常勤講師を務めている。ケーススタディをベースに分かりやすく講義、合格率100パーセントを目指す。					
テキスト・教材	ビジネス能力検定「ジョブパス」3級 2022年度版（実教出版）					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	自己紹介、授業で学ぶこと	講義
2	キャリアと仕事へのアプローチ①	組織人としての重要な心構え	講義
3	キャリアと仕事へのアプローチ②	指示の受け方と報告・連絡・相談	講義
4	ビジネスマナーの基本	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け	講義
5	仕事への取り組み	マニュアル化、スケジュール管理 小テスト①	講義・演習
6	会社活動の基本	組織について、役割	講義
7	ビジネス文書の基本	社内文書と社外文書	講義
8	授業の振り返り	ビジネス用語の確認	講義
9	過去問に挑戦①	ビジネスの基本分野の復習	講義
10	過去問に挑戦②	新聞記事とケースの問題 小テスト②	講義・演習
11	統計データの読み方	数値把握、手順	講義
12	会社数字の読み方	基礎知識	講義
13	過去問に挑戦③	演習	講義・演習
14	授業まとめ	単位認定試験	講義・演習
15	実践編	「会社ゲーム」から考える	講義・演習
他教科との関連 ビジネスマナー 時事教養		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 補講となる。	備考 1回(1コマ)90分授業

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	グリーンデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	6月～1月	時間数	60	単位数	2
授業概要	園芸作業の基礎知識の学習と寄せ植えなどの制作技術の基本を学び、指導できるレベルを目指す。	到達目標	園芸作業を行うために必要な基礎知識と制作技術の習得は必須である。		
担当教員 プロフィール	グリーンアドバイザー (園芸ソムリエ) ・ハンギングバスケットマスター 中道光子 日比谷公園内企業花壇の管理指導、花育活動や福祉施設での園芸療法、家庭園芸の普及指導など長年にわたる指導の経験から、園芸作業の基礎をわかりやすく講義・実践指導する。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編・秋～早春編 (NHK出版) ・ 園芸・植物用語集 (淡交社) ・ 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート30% 実技30% 発表30% その他 (出席率・授業態度など) 10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸基礎作業①	用土・肥料・鉢・管理の基本	講義・演習 AM:FD PM:BF
2	小作品制作①	日当りを好む植物の寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
3	園芸基礎作業②	株分け	講義・演習 AM:FD PM:BF
4	園芸基礎作業③	種まき	講義・演習 AM:FD PM:BF
5	小作品制作②	日陰を好む植物の寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
6	小作品制作③	水生植物について	講義・演習 AM:FD PM:BF
7	小作品制作④	多肉植物・サボテンの寄せ植え	講義・演習 AM:FD PM:BF
8	小作品制作⑤	季節の寄せ植え (ハンギングバスケット)	講義・演習 AM:FD PM:BF
9	小作品制作⑥	球根植物の寄せ植え (クリスマスをテーマ)	講義・演習 AM:FD PM:BF
10	イベント見学	日比谷公園ガーデニングショー	見学 全員
11	指導実践①	模擬園芸教室 計画・準備	講義 上段:BF 下段:FD
12	指導実践②	模擬園芸教室 制作・発表	演習 上段:BF 下段:FD
13	指導実践③	模擬園芸教室 制作・発表	演習 上段:BF 下段:FD
14	指導実践④	模擬園芸教室 制作・発表	演習 上段:BF 下段:FD
15	指導実践⑤	まとめ	講義 上段:BF 下段:FD
他教科との関連 グリーンコーディネート ガーデニング		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 同じ内容の授業を、コース別に分けて行う 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	グリーンコーディネート		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	8月～10月	時間数	30		単位数 1
授業概要	インテリアプランツ (観葉植物) についての基礎知識を学び、それらをコーディネートすることでより良い空間をデザインする技術を学ぶ。自然の植物との関わり方、管理を学ぶ。	到達目標	インテリアプランツ (観葉植物) の特性を知り、その基本的な管理方法を理解することが目標である。		
担当教員 プロフィール	グリーンアドバイザー (園芸ソムリエ) ・ハンギングバスケットマスター 中道光子 家庭園芸の普及指導、インテリアグリーンの普及活動など長年にわたる経験から、観葉植物の楽しみ方を多くの方に知ってもらうためのノウハウを指導する。				
テキスト・教材	観葉植物百科 (テキスト) ・自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート30% 実技60% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション グリーンコーディネートについて	自己紹介 授業内容と進め方 知っている観葉植物についてレポートにまとめる	講義
2	グリーンインテリアの基礎①	インドアグリーンとして使用する植物を知る (樹形、色彩、管理)	講義
3	グリーンインテリアの基礎②	10種類を選び、自分だけのミニ図鑑作成	講義・演習
4	仲卸見学	㈱村田永楽園見学	見学
5	プレゼンボード作成①	新聞のチラシなどを利用し、建物の図面作成	演習
6	プレゼンボード作成②	図面に植物を記入	演習
7	テラリウム作成	用土づくり、植えこみ、管理	演習
8	プレゼンボード発表	1人ずつプレゼンテーション	演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は1回(2コマ)180分授業補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	ガーデニング		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	9月～10月	時間数	30	単位数	1
授業概要	ガーデニング(家庭園芸)の現状を把握し、基礎知識を学ぶ。植物・資材の選択に必要な要素と各々の特色を学ぶ。植物画を描いて、観察する力を養う。コロナ下において新しいガーデニングの発信力を身につける。	到達目標	環境に適した植物の選択ができる。 植物画を描くことで、植物の特徴を理解する。 切り花ではない育てる園芸に興味を持つ。		
担当教員 プロフィール	国吉純 園芸関連イベント等での講師をはじめ、住宅関連企業、集合住宅等で家庭園芸の普及活動を行ってきた経験から、「楽しく簡単に華やかに育てる」をモットーに年齢や場所に関係なく植物と触れ、育て、楽しめるガーデニング、植物選び、メンテナンス法などの指導を講義・演習する。				
テキスト・教材	園芸・植物用語集 ・ 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験5% レポート30% 実技20% 発表5% その他(出席率・授業態度など)40%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	ガーデニングとは?①	現代日本のガーデニング事情 課題：植物のデッサン(花材1人1本)/レポート(9/8提出)	講義・演習
2	ガーデニングとは?②	ガーデニングの歴史(西洋・日本) 課題：江戸時代のガーデニング他 レポート(9/15提出)	講義
3	植物について	植物の種類と庭での活用法 課題：樽コンテナの寄せ植え計画 レポート(9/22提出)	講義
4	庭のデザイン①	庭のデザインの考え方・方法論 課題：グループ デザイン模型作り実習	講義・演習
5	庭のデザイン②	庭を構成する資材・エクステリア 課題：グループ デザイン模型作り実習	講義・演習
6	ガーデニングの展望	商業施設・壁面・屋上緑化・園芸療法 課題：庭と店舗見学 レポート(10/27提出)	講義
7	寄せ植えの基礎知識と実践	ミニコンテナの寄せ植え(実習) 課題：寄せ植えまとめ レポート(10/20提出)	講義・演習
8	まとめ	ガーデニングの展望	講義
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業 レポート提出必須



2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ビジネスマナー		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	10月～12月	時間数	30		単位数
授業概要	ビジネスの基本とコミュニケーションについて学ぶ。自分自身について理解を深めることを通して、多様な人々とコミュニケーションをとれる人材、社会に適應できる人材の育成を目指す。	到達目標	コミュニケーションの重要性、ビジネスマナーの意味を理解する。自分の言葉で伝える力を身に付ける。自分にとっての「働く」意味を考え、長期のキャリアビジョンを考える。		
担当教員 プロフィール	遠藤由紀 高校生・大学生を対象としたキャリアカウンセリングや就職指導に長年携わり、また民間企業の就職面接官を勤めるなどの経験をもとに、社会人としての基本マナーなどを実践を交えて指導する。国家資格キャリアコンサルタントほか、専門資格を多数保有。				
テキスト・教材	テキスト「ゼロから教えて ビジネスマナー」 自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験15% レポート10% 実技0% 発表15% その他（出席率・授業態度など）60%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション アイスブレイク 組織で働くとは	学生と社会人の違いを知る（生活リズムを整えよう） なぜマナーが大切なのか 就活スケジュール、自分にとっての「働く意味」を考える	講義・演習
2	コミュニケーション ビジネスマナーの基本① ～傾聴力を磨く	コミュニケーションとマナー 第一印象で差をつけよう（メラビアンの法則） 社会人としての話の聴き方	講義・演習
3	ビジネスマナーの基本② ～伝える力を磨く	敬語の基本を学ぶ、マジックフレーズの活用 アサーション 電話・メール対応の基本	講義・演習
4	ビジネスマナーの基本③ ～チームビルディング	報・連・相の重要性 働く上でのチームワーク、チーム内での役割 チームビルディングワーク	講義・演習
5	キャリアビジョンを考える 自己分析① ～働く意味・価値観	自分にとっての「働く」意味を考える 価値観、興味関心、能力の確認	講義・演習
6	自己分析② ～強みを見つける	自己PRで求められていること 自分の強みを考える 自己PRを書いてみる	講義・演習
7	企業研究と求人検索	業界（園芸の4つの領域、他業界）について調べる 就活の軸（企業選びで大切にすること） 企業の求める人物像を知る 社会人基礎力	講義・演習
8	履歴書の書き方 ESの書き方 まとめとテスト	履歴書の書き方 ESとは？（主な3つの質問）志望理由・ガクチカの書き方 理解度テスト 質疑応答とフリーディスカッション	講義・演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 インターンシップ フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	インターンシップ		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	12月～3月	時間数	120	単位数	4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練	到達目標	最低限、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を確実なものとするのが目標である。		
担当教員 プロフィール	水本寿美江 カリキュラム全体を統括し学生の就職活動指導を行う教務部長の立場で、受け入れ先企業と連携して各コースの学生に求められる各分野ごとの基礎技術・社会人としての素養が身に付いているか実務経験を通して総合的に判断し指導する。				
テキスト・教材					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート50% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 50%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	インターンシップ指導	インターンシップに臨む心構え インターンシップ先希望調査	
2	インターンシップ指導	インターンシップ先企業選定 インターンシップを就職活動に活かすには	
3	インターンシップ指導	インターンシップ先企業決定 受け入れ先企業への連絡の仕方・お礼状の書き方	
4			
5	インターンシップ 2月29日(木)～16日(土)	期間中実動12日間、花き園芸業界で実務を経験する	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワーデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 ブライダルフラワーコース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	通年		時間数	180	単位数 6
授業概要	基本的な知識と技術をベースに、より実践的な装飾方法や応用技術・企画の仕方などを習得する。	到達目標	1年次に学んだ基礎技術を発展させ、お客様のご要望に沿った企画・商品制作ができるようにすることを目標とする。		
担当教員 プロフィール	小池智子 元生花店勤務 基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開。 花井茂 生花店経営・デザイナー 葬儀の花、店頭での商品制作など実践に基づいた技術指導を行う。 今野亮平 ギフト商品販売会社経営 ディスプレイ装飾の実践や特殊資材を用いた商品の制作技術を指導。 武田千菜 ドイツで学び、生花店勤務経験で得たドイツデザインの基本を、理論と実践で指導。 (株)東京堂 所属デザイナーによる造花など自社製品を使った作品のデモと商品企画のノウハウを指導。 熊谷佳子 パーソナルカラー診断の実践経験をもとに、個人の個性と花の色合わせを、理論と実践で指導。 峰岸喬 生花店経営・フローリスト 大手結婚式場に長年勤務した経験を活かし、実践に基づいた技術指導。 レン・オークメイド 国内外での数々のデモ・イベント装飾を行うオランダマスターフローリストが、デザイン技術を実践指導。 中三川聖次 アトリエ主宰 切花仕入れ担当や輸入会社のオランダ業務・検疫担当等の経験を活かし、実践的授業を展開。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	基礎復習①	花材別水揚げ方法の復習	小池 講義・演習
2	基礎復習②	花束・アレンジメント・ラッピング	小池 演習
3	模擬店舗①	母の日に向けて	小池 演習
4	模擬店舗②	予算・用途に合わせた花束・アレンジメント	小池 演習
5	基礎復習③	オールラウンドアレンジメント・花束	小池 演習
6	基礎復習④	ワンサイドアレンジメント・花束 ホルダーブーケ	小池 演習
7	パーソナルカラー①	パーソナルカラーを意識した花合わせ・色合わせ	熊谷 講義・演習
8	パーソナルカラー②	パーソナルカラーを意識した花束・アレンジメント	熊谷 演習
9	模擬店舗③	予算・用途に合わせた花束	花井 演習
10	模擬店舗④	予算・用途に合わせた花束・アレンジメント	花井 演習
11	ヨーロッパデザイン①	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
12	ヨーロッパデザイン②	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
13	ヨーロッパデザイン③	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
14	ヨーロッパデザイン④	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習

15	デザイナーによる ショップDay①	ワーク	デモンストレーション見学	今野 講義・演習
16			個人での作品制作 講評	今野 講義・演習
17	空間装飾の仕事①		空間装飾・ディスプレイの仕事	今野 講義・演習
18	空間装飾の仕事②		グループワークによる空間装飾	今野 講義・演習
19	商品制作①		プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習
20	商品制作②		プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習
21	基礎テスト①		テスト：花束・アレンジメント	小池 演習
22	基礎テスト②		ブーケの基礎テスト：ホルダーブーケ・ブートニア	小池 演習
23	フローリストによる ワークショップDay①		デモンストレーション見学	峰岸 講義・演習
24			個人での作品制作 講評	峰岸 講義・演習
25	活けこみ実習①		現場下見 お茶の水ホテルじゅらく	小池 講義
26	活けこみ実習②		お茶の水ホテルじゅらく 装飾デザイン考案	小池 講義
27	パーソナルカラー③		パーソナルカラーを意識した4つのコサージュ	熊谷 講義・演習
28	パーソナルカラー④		パーソナルカラーを意識した4つのコサージュ 春・夏・秋・冬	熊谷 講義・演習
29	活けこみ実習③		お茶の水ホテルじゅらく 装飾デザイン考案・完成	小池 講義
30	資材類の扱い方①		東京堂にて資材購入	株式会社東京堂 引率
31	資材類の扱い方②		グループ制作用材料購入、制作	株式会社東京堂 引率
32	資材類の扱い方③		東京堂にて資材購入した分のグループワーク	小池 講義・演習
33	フローリストによる ワークショップDay②		①を踏まえての発展	峰岸 講義・演習
34			個人での商品制作 講評	峰岸 講義・演習
35	活けこみ実習④		お茶の水ホテルじゅらく 装飾プレゼンテーション準備	小池 講義
36	活けこみ実習⑤		お茶の水ホテルじゅらく プレゼンテーション	小池 講義
37	ヨーロッパデザイン テクニック①②		オランダマスターフローリストのデモンストレーション見学	レン・オークメイド 講義
38			多種多様な資材を使用した作品制作	レン・オークメイド 演習
39	活けこみ実習⑥		お茶の水ホテルじゅらく 装飾花材発注	小池 講義
40	お祝い花①		お祝いの贈り花	花井 講義・演習
41	お祝い花②		お祝いのスタンド花 1段・2段、札	花井 演習
42	活けこみ実習⑦		お茶の水ホテルじゅらく 装飾制作	小池 演習
43	活けこみ実習⑧		お茶の水ホテルじゅらく 装飾納品	小池 演習

44	活けこみ実習⑨	お茶の水ホテルじゅらく 装飾メンテナンス	小池 演習
45	活けこみ実習⑩	お茶の水ホテルじゅらく 装飾撤去・片付け・反省会	小池 演習
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ブライダルフラワー		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 ブライダルフラワーコース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	9月～2月	時間数	195	単位数	6.5
授業概要	ブライダルを中心とした冠婚葬祭に関わる花装飾の基本的技術を習得し、さらに応用発展させ共同作業訓練・企画力を身に付けさせる。	到達目標	冠婚葬祭に関わる花全般の基礎技術と知識を身に付け、お客様のご要望に沿った商品制作ができるようになることを目標とする。		
担当教員プロフィール	小池智子 生花店での販売、レストランウェディングフラワー部門での実務経験を活かし、即戦力養成授業。 植田紀久 生花店でブライダル・大型装飾の業務に携わった経験をもとに、デザイン技術を実践指導。 熊谷佳子 カラリストとしての実務経験から、ブライダルのトータルカラーコーディネート術を実践指導。 山崎佳代子 生花店のブライダル部門での実務経験から、イメージに沿ったデザインの再現力を実践指導。 花井茂 生花店経営・デザイナー フューネラルフラワーも数多く手掛けてきた経験を活かし実践指導。 中三川聖次 アトリエ主宰 切花仕入れ担当や輸入会社のオランダ業務・検疫担当等の経験を活かし、実践的授業を展開。 高野真樹子 実習店舗や生花店での販売経験をもとに、売れる商品の企画デザイン・アイディアを実践指導。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技95% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	花加工①	押し花ブーケ 説明、ブートニア制作・押す	高野 講義・演習
2	花加工②	押し花ブーケ ①の確認、シート乾燥、企画書作成	高野 講義・演習
3	ギフトショー見学	ギフトショー見学	小池 見学引率
4	花加工③	押し花ブーケ 材料加工	高野 講義・演習
5	デザイナーによる ワークショップDay	デモンストレーション見学	中三川 講義・演習
6		個人での作品制作 講評	中三川 講義・演習
7	デザインの発想と構築①	説明・トレーニング	小池 講義
8	デザインの発想と構築②	トレーニング・思考・発表準備	小池 講義
9	デザインの発想と構築③	発表（スケッチブック） （東京堂）グループワークミーティング	小池 講義
10	デザインの発想と構築④	（東京堂）グループワーク まとめ、発表	小池 講義
11	ブライダルカラーコーディネート①	テーブルコーディネートと花・色の合わせ方 カラードレスと花・色の合わせ方	熊谷 講義
12	ブライダルカラーコーディネート①	テーマをもとに色・花合わせをした テーブルコーディネート企画立案	熊谷 講義
13	装飾①	フューネラル① お悔みの花の種類と注意点	花井 講義・演習
14		キクを使ったスタンド花制作、枕花、花束	花井 演習
15	装飾②	フューネラル② 生花祭壇のいろいろと注意点	花井 講義・演習
16		祭壇制作	花井 演習

17	装飾③	立食パーティーでの大型装飾	植田 講義・演習
18		エントランスを飾る大型装飾 オールラウンド、ワンサイド	植田 講義・演習
19	装飾④	装飾③の復習	小池 講義・演習
20		※全作品パターン履修	小池 演習
21	最終課題の説明	ブライダルフラワーコース最終課題 説明	小池 講義
22	ブライダルカラーコーディネート②	企画立案したテーブル装花制作 テーブルセッティングの演出の仕方・講評	熊谷 演習
23		まとめと講評	熊谷 演習・講義
24	装飾⑤	ホテルウェディングでの装花 メインテーブル装花・キャンドル装花・ケーキ装花	植田 講義・演習
25		ブライダルブーケ・ブートニア・ヘア飾り制作テクニック	植田 演習
26	装飾⑥	ゲストハウス・レストランウェディングでの装飾 メインテーブル装花・キャンドル装花・ケーキ装花	山崎 講義・演習
27		ブライダルブーケ・ブートニア制作テクニック	山崎 演習
28	装飾⑦	クリスマス装飾	植田 講義・演習
29		お正月装飾	植田 演習
30	装飾⑧	装飾⑦の復習	小池 講義・演習
31		※全作品パターン履修	小池 演習
32	応用①	様々な形のブライダルブーケ	小池 講義・演習
33	応用②	ボールブーケ・バッグブーケなど	小池 講義・演習
34	応用③	特殊花材を使用	小池 演習
35	応用④	ブライダルブーケ・ブートニア・ヘアオーナメント	小池 演習
36	花加工④	押し花ブーケ 材料加工、ブーケ制作、押す	高野 演習
37	花加工⑤	押し花ブーケ 制作	高野 講義・演習
38	最終課題	企画	小池 講義
39	最終課題	企画・発注	小池 講義
40	花加工⑥	押し花ブーケ 制作	高野 演習
41	花加工⑦	押し花ブーケ 制作仕上げ	高野 演習
42	花加工⑧	押し花ブーケ まとめ	高野 演習
43	学科テスト	まとめの学科テスト	小池 講義
44	最終課題制作・撮影	ブライダルフラワーコース最終課題 制作・撮影	小池 演習
45	最終課題制作・撮影	ブーケ・ブートニア (ゲスト装花、メイン装花 等)	小池 演習

46	最終課題片付け・ボード	ブライダルフラワーコース最終課題 片付け・ボード制作	小池 演習・講義
47		片付け・ボード作成・会計・発注準備	小池 演習・講義
48	最終課題 発表	ブライダルフラワーコース最終課題 ボードを使用し発表	小池 演習・講義
49		総まとめ	小池 講義
他教科との関連 フラワーデザイン ブライダルの基礎知識		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校



2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	花と緑の商品知識		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	4月～10月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	主な植物の種類や性質の把握 季節に応じた草花・花木・鉢物などの商品知識・店頭管理や栽培の基礎知識の習得	到達目標	代表的な植物や資材に対する顧客からの最低限の問いに答えられる程度の知識の習得（出回り時期、観賞時期、管理方法、園芸的分類、花色など）		
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。 石井康之 種苗会社勤務 種苗会社の役割と野菜苗の品種開発の現状について講義する。 草間祐輔 園芸研究者 家庭園芸での薬剤の使い方について実践的な指導を行う。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典（NHK出版）・植物の病気と害虫 防ぎ方・直し方（主婦の友社）・自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	花壇苗・鉢物①	春～初夏に出回る植物 1	大久保 課題
2	樹木①	春～初夏に園芸店に出回る花木 1	大久保 課題
3	花壇苗・鉢物②	春～初夏に出回る植物 2	大久保 課題
4	樹木②	春～初夏に出回る花木 2	大久保 講義
5	花壇苗・鉢物③	カラーリーフ・芝生・下草	大久保 講義
6	花壇苗・鉢物④	春～初夏に園芸店に出回る植物 3	大久保 講義
7	花壇苗・鉢物⑤	初夏～夏に出回る植物 復習	大久保 講義
8	野菜類①	種苗会社の仕事について	石井 講義
9	野菜類②	野菜の種子・おすすめ野菜などについて	石井 講義
10	土・肥料・薬品①	病害虫に対する薬品の種類と使用上の注意点	草間 講義
11	土・肥料・薬品②	植物に適した土や肥料の選び方	草間 講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワービジネス	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ビジネスマナー		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	4月～9月	時間数	45		単位数
授業概要	就職活動に際しての履歴書、志望動機の書き方、自己PR、面接の受け方、社会人としての心構えを学ぶ。また、社会人としての確かな生活設計を立てるために保険や年金などお金のことを学ぶ。	到達目標	自信を持って自己PRができるようになる 的確な言葉遣いができるようになる 文章力と表現力を身に付ける 税金や社会保障の仕組みを理解する		
担当教員 プロフィール	遠藤由紀 高校生・大学生を対象としたキャリアカウンセリングや就職指導に長年携わり、また民間企業の就職面接官を勤めるなどの経験をもとに、社会人としての基本マナーなどを実践を交えて指導する。 森川敏彦 ファイナンシャル・プランナーの視点から税金・社会保障の仕組みを分かりやすく講義。ゆとりあるライフプランと働き方について考える。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験10% レポート25% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）65%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	今期のオリエンテーション 自己PR/志望動機を考える①	1. 全9回の流れ、受講の約束、評価基準 2. 1年次学年末テストの返却と振り返り 3. エントリーシート3つの要素 4. 自身の強みとエピソードについて考える	遠藤 講義
2	履歴書を完成させる	1. 会ってみたいと思ってもらえる履歴書づくりを考える 2. 送付状、封筒の書き方 3. 写真の重要性	遠藤 講義
3	ビジネスマナー演習① ～言葉づかい～	1. あいさつ、返事、身だしなみ、姿勢 2. 感じのよい言葉づかいと敬語、クッション言葉 3. 自己紹介文を考える	遠藤 講義
4	面接練習①	1. 面接の目的と採用側の視点 2. 面接の流れ（入室から退室まで）を中心に練習 3. オンライン面接の注意点	遠藤 講義・演習 （スーツ着用）
5	自己PR/志望の動機を考える② 伝える力を磨く	1. 添削返却・フィードバック 2. 伝わる伝え方を考える 3. 分かりやすく、簡潔に、印象深く伝える練習	遠藤 講義
6	面接練習②	1. 特定の企業を想定し、模擬グループ面接実習 2. 全体を振り返っての質疑応答	遠藤 講義・演習 （スーツ着用）
7	グループディスカッション	1. グループディスカッションの目的と採用側の視点 2. 役割について 3. 模擬グループディスカッション	遠藤 講義・演習
8	ビジネスマナー演習② ～電話、メール、訪問マナー～	1. 採用選考を意識した電話応対やメールのマナー 2. 訪問マナーと名刺交換	遠藤 講義
9	ビジネスマナーの振り返り	1. 新入社員としての心構え 報連相の重要性 2. 全体を振り返っての質疑応答 3. 課題「異世代間コミュニケーションについて感じること」	遠藤 講義
10	お金のことを学ぶ時代	ファイナンシャル・リテラシーとライフデザイン	森川 講義
11	税金・社会保障について	税金・年金・保険 チェックテスト	森川 講義
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 インターンシップ	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	フラワービジネス		履修区分	必修	選択	
受講対象	2年生 プライダルフラワーコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	30時間		単位数	1
授業概要	園芸実務に必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術や商品陳列、POPなど販売促進に繋がる技術の応用を学ぶ。	到達目標	接客に際しては、顧客に不快感を与えない接客を。包装技術は、プロの販売員として恥ずかしくない包装を。商品陳列などの販売促進技術は、確実に効果のみられるものを、それぞれ目指す。			
担当教員 プロフィール	武田千菜 元大手生花店・本校実習店舗での勤務経験から販売員として必要な接客マナーと技術を指導 水本寿美江 元生花店勤務の経験から、商品管理、陳列など実践に基づいた授業展開を行う 佐貫一恵 元大手生花店勤務 本校実習店舗チーフとして、豊富な経験をもとに学生の実習指導にあたる 高野真樹子 本校卒業生で元生花店販売員 本校実習店舗にて接客や商品制作の指導にあたる					
テキスト・教材	自作プリント 園芸ビジネス フラワーデザイナーのための花の教科書 水揚げ&花のケア					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験65% レポート0% 実技35% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸ビジネス 包装の種類と技術①	接客マナーの復習 鉢物ラッピングバリエーションと宅配梱包作業実践	武田 講義・演習
2	園芸ビジネス 包装の種類と技術②	接客マナーの復習 花束制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習
3	園芸ビジネス 包装の種類と技術③	接客マナーの復習 アレンジ制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習
4	園芸ビジネス 復習	接客サービスと商品管理・花贈りのマナーの基本 1年次の復習とチェックテスト	水本 講義
5	品種名テスト 第1回 水揚げ150種テスト 第1回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・日持ち・出回り時期・水揚げ方法 525点以上	水本 講義
6	品種名テスト 第2回 水揚げ150種テスト 第2回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・日持ち・出回り時期・水揚げ方法 525点以上	水本 講義
7	店舗実習	実習店舗で実務を行う(3コマ270分授業)	佐貫・高野 実習
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2023年度 シラバス（授業細目表）

科目名	デザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	9月	時間数	30	単位数	1
授業概要	1年次に学んだデザインの基本的な知識と技術をベースに、より実践的な表現方法や応用技術、プレゼンテーションの仕方などを習得する。	到達目標	実際のプレゼンテーションの場において役立つ、パースやデザイン画の描き方、空間を表現する力を身に付ける。		
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。				
テキスト・教材	自作プリント				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	スケッチから伝える①	モチーフをスケッチ	徳永 講義・演習
2	スケッチから伝える②	モチーフをスケッチ・講評	徳永 講義・演習
3	スケッチから伝える③	写真を見て描く・プレゼンボードの完成	徳永 講義・演習
4	スケッチから伝える④	プレゼンテーション・講評	徳永 講義・演習
5	スケッチから伝える⑤	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
6	スケッチから伝える⑥	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
7	スケッチから伝える⑦	空間表現	徳永 講義・演習
8	スケッチから伝える⑧	空間表現	徳永 講義・演習
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

## 2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月・11月	時間数	120		単位数	4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練	到達目標	実務を通して基礎知識・技術の重要性を学び、 社会人として必要なコミュニケーション力とビ ジネスマナーの実践を目標とする。			
担当教員 プロフィール	元生花店勤務。教務部長、就職担当の立場から、各学生の希望に沿った実習先企業を選定・依頼を する。また、カリキュラム全体を統括する立場であることから、各コースごとに学生に求められる 水本寿美江 基礎技術・資質など企業からの評価と合わせて総合評価をすることができる。					
テキスト・教材						
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート40% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以 上、かつ総合評価の点数が60点以上 で単位認定となる。		

## 授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	母の日短期アルバイトを兼ねた インターンシップ	期間中3日以上、園芸店もしくは生花店でアルバイトをする	実習
2	インターンシップ	期間中実動12日間、就職内定先または就職希望先で実務を経 験する	実習
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場 合は補講となる。		備考

2023年度 シラバス (授業細目表)

科目名	卒業制作			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	12月～2月	時間数	30		単位数	1
授業概要	2年間学んできたことの集大成として、作品を制作し卒業作品展で家族や一般の方々に見ていただく。出品作品を制作する過程を記録し、まとめたものを課題研究とする。	到達目標	自分だけのオリジナルデザインを考え試行錯誤しながら完成させることを目標とする。また、作品制作の過程を記録することも必須である。			
担当教員 プロフィール	水本寿美江 元生花店勤務。本校教務部長でありカリキュラム全体を統括する立場であることと、豊富な実務経験から、各コースごとに学生に求められる基礎技術・独創性など総合評価をすることができる。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート25% 実技75% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	卒業作品展について説明 作品企画立案	レポートの作成要領と作品規定を説明。 各々作品の構想を練る	講義
2	企画書作成	デザイン案・企画書の詳細を決める	講義・演習
3	企画書完成	デザイン案・企画書を完成させる	講義・演習
4	コンセプト作成	デザインの基本的な思想(方向性)を文章にして表現する	講義・演習
5	花材・資材購入準備 展示プレート用コメント作成	作品を制作するための具体的な準備を進める	講義・演習
6	会場準備 作品制作	会場準備のための全体清掃 各自、作品制作を行う	演習
7	作品制作	各自、作品制作を行い完成させる	演習
8	卒業作品展	受付・会場案内	
9	卒業作品展	受付・会場案内	
10	会場片付け	作品撤去と会場の片づけ	
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は 補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業